

第七回備前市文学賞 詩【小学生の部】 入選作品

くも

伊部小学校一年 西崎 晴彦

きょうのくもは、さめ

あしたのくもは、そふとくりいむ

さめがおおきなくちをあけて

あしたまでそふとくりいむを

おいかけていく

そして

かぜにながされて

きえていく

おもしろいな

ぼくも

そふとくりいむたべたかったな

第七回備前市文学賞 短歌 入選作品

【一般の部】

備前市八木山 有吉 一行

草群に見え隠れせし蛇苳燃ゆる眼(まなこ)で敵を討つかや

雨誘う庭一面の四片(よひら)とて花咲き誇り首(こうべ)垂れゆく

巢籠りて親しき人に戸を立てば心密かにコロナの街へ

【小学生の部】

伊部小学校四年 佐々木 翔 真

いまがまんステイホームをつづけよういつかつながるととてとえがお

【中学生の部】

日生中学校二年 川 邊 真 緒

傘の中弾まぬ会話響くのは雨が傘を叩く音だけ

第七回備前市文学賞 俳句 入選作品

【一般の部】

備前市東片上 頓宮 寿美子

乾杯の末席に居て年新た

釣船の行き交う長閑なる入江

浜風の棚に雑魚干す島の秋

【小学生の部】

日生東小学校五年 牧野 結琳

シャリシャリと氷がおどるブルーハワイ

【中学生の部】

日生中学校三年 奥田 梨琴

消えそうな線香花火輝く目

第七回備前市文学賞 川柳 入選作品

【一般の部】

備前市西片上 吉村嘉夫

手を合わす事を覚えた子の茶碗

母の声聞けなくなった日の夕日

趣味一つ抱けば弾んだ声になる

【小学生の部】

日生東小学校五年 延原佑依

せみたちがさぼる私におこってる

【中学生の部】

伊里中学校三年 長田美空

伝えたよ僕の気持ちは泣く空が